

3月定例議会報告！

3月定例議会

3月横瀬町議会定例会は3月9日から14日まで4日間、にわたり行われました。

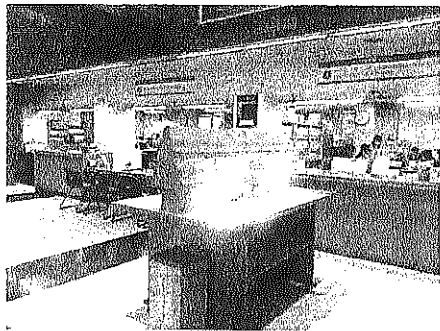
今議会は条例制定、条例の一部改正、補正予算、28年度予算、人事案件がありました。主なものの◎

- ◎ 条例の改正
職員給与条例
家族介護者支援手当条例
出産祝い金支給条例
小学校等入学祝い金支給条例

- ◎ 健康長寿祝い金支給条例
補正予算（一般、国保、介護、後期高齢、下水、浄化槽管理、水道の各会計）

- ◎ 28年度予算（一般、国保、介護、後期高齢、下水、浄化槽管理各会計）

- ◎ 人事案件（農業委員10名、固定資産評価委員1名、選挙管理委員4名、補充員4名）



子育て支援課を設置
明るくなった庁舎

浅見議員は職員給与条例の改正に賛成討論、手数料条例、健

康長寿祝い金支給条例に反対討論をしました。

一般質問

3月議会は新人議員5名全員を含め7名の一般質問がありました。浅見議員は次の3つのテーマで執行部のあり方を問いました。

1. 戸ヶ久保の地域振興について

問 農業等担い手の高齢に伴う技術継承・育成をどのように行っていくか。

答 重要な課題として捉え経済的・技術的バックアップを行っていく。総合戦略でも位置づけ、若い人だけでなく、定年退職後の収穫の喜びを味わう等地域との連携をコミュニティ活動も活用しながら進めていきたい。

問 あしがくぼの氷柱をどのようにとらえ、今後の関わり方について

答 冬場の誘客として大きな役割を果たしている。町としても積極的に応援していきたいと考えている。

問 森林の保全管理をどのように図っていくか

答 森林組合の広域合併、定住自立圏等により共同して保全管理が図られるように取り組んでいきたい。

2. 子育て支援の充実について

問 町営の保育を維持し拡充

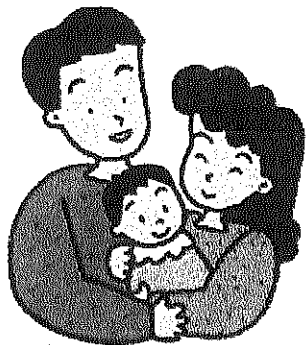
することが子育てにやさしいまちづくりと考えるが、町の姿勢は

答 公立の保育所を維持していくのには維持費がかかりすぎる。身の丈にあったよりよいサービスができるのかを幅広く議論して方向性を定めていきます。

3. プレミアム付き商品券について

問 売り方等取り扱いがどうか

答 段階的に販売したので混乱はなかった。また、利用状況は22、8万円が未利用、利用率99、81%であった。



横瀬町をより子育てに優しい町に

出産祝い金条例が一部改正され第2子、第3子に支給範囲が広がりました。

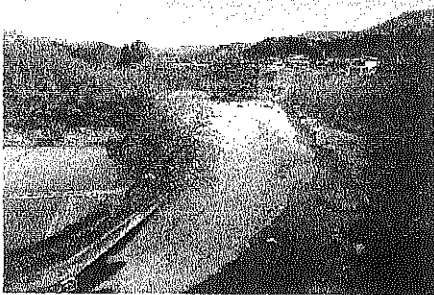
第1子	3万円
第2子	5万円
第3子	10万円

健康長寿祝い金支給条例
現在77歳、80歳 1万円
88歳、90歳、99歳2万円
100歳 5万円

80歳と99歳をやめて100歳を10万円とする。これに対して

浅見議員は現在の平均寿命を考慮するならば、80歳をなくすことにより支給を受けられない人が多くなる。そこで77歳をやめて80歳を2万円にしたほうが良いと主張しました。

反対討論 浅見 向井
賛成討論 内藤 阿左見
賛成7名で議決
反対議員は若林清平、関根、向井 浅見



問題となった都市施設用地

今回予算審議の中で、都市施設用地賃借料が計上されていることに対して、見直しをすべき時期に来ているとして、執行部への対応を求める意見がありました。



戦争法の廃止署名を呼びかける浅見議員

戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会が呼びかけています。横瀬町では現在564筆となっております。みなさんご協力をよろしくお願いします。

町職員の変動（課長級）

- 敬称略
- 総務課長 小泉源太郎
- 町経営課長 赤岩利行
- 税務会計課長 大野洋
- いきいき町民課長 守屋敦夫
- 健康づくり課長 小泉明彦
- 子育て支援課長 浅見雅子
- 振興課長 町田文明
- 建設課長 横田稔
- 議会事務局長 富田芳夫
- 教育次長 島田公男

退職 お疲れさまでした。

- 柳 健一 富田等 町田多
- 大場紀彦 大野雅弘 町田勉
- 高野直政
- 任期付 金子育代 鈴木利彦